

Book Review

発行：山口県小児科医会 神経発達症へのトビラ



2024 年 4 月発行
87 頁 (A4 判)
1,000 円 (税込み)
購入問合せ先：山口県
小児科医会

小児科医は「こどもの総合医」として、Bio-Psycho-Social model への取り組みが期待されている。令和 5 年度から費用助成が始まった 5 歳児健康診査（健診）では、身体異常の早期発見に加えて、精神発達の状況や言語発達の遅れ等のこころの異常、育児上問題等への早期介入・支援が重視されている。児童精神科医師だけでなく、一般小児科医にとっても、子どものこころの問題への取り組みはこれまで以上に必要とされている。

2017 年に発刊された「小児科医のための子どものこころ相談ガイドブック（改訂第 3 版）」を補完する本書は、山口県小児科医会が長年取り組んできた「子どもと家族を守る」活動の一環であり、山口県小児科医会の諸先生の情熱と信念には敬服しかない。

本書のタイトルに神経発達症とあるが、これから 5 歳児健診への参加を予定している一般小児科医や、日ごろの子どもの発達相談に苦手意識をもつ小児科医にぜひ読んでいただきたい。本書は臨床現場の最前線で活躍される小児科医会の先生による簡潔でわかりやすい回答集であり、多くの小児科医の迷いと躊躇を払拭することであろう。

「小児科医のための子どものこころの相談ガイドブック」とともに本書を全国の小児科医が手にすることで、神経発達症のみならず、出生から思春期までの切れ目のない健診やこどもの総合医へのトビラもより一層開かれていくことは間違いないであろう。

(国立成育医療研究センター総合診療科 島袋林秀)